

# 令和4年8月豪雨における医療救護活動

令和4年8月3日から4日にかけて大変な豪雨に襲われ、新潟県北部でも被害を受けました。

長岡赤十字病院は、岩船郡関川村に医師・看護師・薬剤師・事務員で編成された救護班を8月5日に1班、追加で8月6日に1班、合計2班を派遣いたしました。

救護班は、家屋やライフラインなど甚大な被害を受けている現地において、地元の医師や保健師、関係機関と連携しながら、被災された地域や避難所などを巡回し、診療や衛生環境等の調査、新型コロナウイルス感染症を考慮した療養環境の整備などの活動を行いました。



これから先も必ず起こる大災害。  
ひとりでも、多くの人を救う。救うことを、つづける。  
わたしたちは、苦しんでいる人たちを救いたいという思いを結集し、  
いかなる状況下でも、人間のいのちと健康・尊厳を守ります。